

「ひらこう！まなびのとびら つなごう！みんなのこころ」

学校は楽しいところです。楽しくなければ学校ではありません。これが、私たちが考える「学校とは」という問いに対する答えです。ただ、一口に楽しいと言っても、その場限りのただただ楽しいもあれば、分からないことやできないことに対峙し、分かった、できたという時の楽しさもあります。場合によっては、課題を解決することはできなかったけれど、時間をかけて友だちとああだこうだと話し合ったり、協力してねばり強く取り組んだりした、その過程が楽しかったということもあります。また、課題を解決したら、新たな課題が見付かったといった学びの本質を突いた楽しさもあります。こうした多様な学び、活動を通して、自分一人では気付かなかった考えに出会ったり、自分の考えが深まったり広まったりして認識を新たにしたり、一人では解決できないことをみんなで力を合わせて解決したり、そんな経験を子どもたちに学校で、毎日の生活の中で、たくさん味わわせたい、そして、「生きる力」を培いたいと私たちは考えています。

そこで本校は、名古屋市学校教育の努力目標「ともに学び 自分らしく生きる」、北中ブロックの共通の努力目標「ともに学び ともに高める」を受け、昨年度に引き続き今年度も、学校教育努力点の合言葉を「ひらこう！まなびのとびら つなごう！みんなのこころ」とし、主体的・対話的で深い学びを実現することで、本校の学校教育目標「強く、正しく、やさしい 西味鉦っ子の育成」に迫りたいと考えました。

昨年度、「めあて」に対する「振り返り」であることを意識させるために、OPP (One Page Portfolio) シートを使って学びの履歴を見える化しました。このことで、子どもたちは、自身の学習の定着の状況や成長を自覚することが容易になりました。また、学びの履歴に教師が働き掛けることで、自身の学びを見つめ直したり調整したりする子どもの姿を見ることができました。また、学びの履歴は、教師が、授業の展開を組み直したり、授業改善したりすることにも役立ちました。これは、「目標と指導と評価の一体化」が図られた証です。

そこで今年度は、「めあて」を達成するための方法・手だてを身に付けさせることで、これまで以上に主体的に学習に取り組む子どもを育てたいと考えました。ここでいう方法・手だてとは、既に習得している見方・考え方を働かせ、一人で考えたり、友だちや教師に相談したり、観察・実験をして確かめたりすることなどを指しますが、それを選択するには、学習の早い段階で、学習の見通しをもたせることが重要です。また、適切な方法・手だてを選択し、ねばり強く学習に取り組ませるには、教師が、随時、一人ひとりの学習状況や思考の流れを見取り、適切な働き掛けをすることが必須です。そして、これらを可能にするのが、OPPシートです。また、OPPシートを使うことにより、学習を通してどんな資質・能力を身に付けることができたかが明らかになり、それが新たな見方・考え方となって、新たな方法・手だての獲得にもつながります。

こうした一連の学びを通して、一人ひとりが自ら課した課題に対して、見通しをもって主体的・循環的に取り組み、学びの扉を一つ、また一つと拓いていく姿や、一連の学びや活動に、協働的・対話的に取り組み、自分一人では解決できなかった課題を解決したり、本当のものを見付けたりする、そして、みんなの心が一つになる、つながる、そんな子どもたちの姿をたくさん見たいと考えています。